

飯能西中だより



天覧山 9月号

飯能市立飯能西中学校
学校だより
令和4年度 第6号
令和4年9月6日発行

<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立 共生
<目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

守られる立場から守る立場へ

校長 中村 公一

相次ぐ台風の発生の影響もあり先週から曇りや雨の日が続いています。今週末の体育祭を前に生徒たちは様々な競技の練習に余念がありません。今のところ夏休み中のような酷暑日がないので熱中症などの症状を訴える生徒はあまりいないようですが、湿度が高いと体の中に熱がこもってしまうようなので、こまめに水分補給や休憩をとるなど体調管理には十分気をつけたいものです。体育祭については今のところ実施する予定でおりますが、新型コロナウイルスの感染が収まっていないことから、生徒のご家族以外の参観はご遠慮いただくことといたしました。日頃お世話になっております地域の方々や卒業生の皆さんにも参観いただけないことを心苦しく思いますが、何卒ご理解をいただきたいと思ひます。

さて、先週の9月1日は防災の日でした。みなさんもよくご存じの通りこの日は99年前に10万人以上の方が亡くなったという関東大震災が起きた日であることから、年に一度、全国で防災の意識を高める日とされています。我が国は地震が頻発することでも世界的に知られており、私たちの記憶の中にも阪神淡路大震災や東日本大震災などにおける地震災害の衝撃が強く残っています。しかし時間とともにそれらの驚異に対する心構えが弱くなってしまっていないでしょうか。先月号の「不戦の誓いを引き継ぐこと」でもお話をさせていただきましたが、災害の教訓を引き継いでいくことも簡単ではないようです。それに自然災害は地震だけではなく、台風や豪雨による風水害が今年も全国で発生しているように、河川の氾濫や土砂崩れといったものは私たちにとっても人ごとではありません。実際に3年前の2019年10月の台風19号では埼玉県内でも多くの水害が発生しています。そこで今月実施する避難訓練および安全指導では飯能市防災危機管理室の方にお越しいただき、飯能市における防災の視点や心構えについてお話をさせていただくことにしました。東日本大震災の時に釜石東中学校の生徒の行動が多く命を救ったということで「釜石の奇跡」として語り継がれていますが、日中多くの大人が働きに出ている時間帯に災害が発生した時には、中学生の皆さんがどのように行動するかによって地域の運命が大きく左右されることもあるということを自覚してもらわなくてははいけません。そういった意味においては、**守られる立場から守る立場に変わっていくことが大人になるということ**なのだとと言えるかもしれません。このように時代や社会の変化に伴って中学生に求められる資質や能力も少しずつ変化しています。私たち大人もそのことを十分に意識し、「中学生とはこういうものだ」とか「中学生はこうあるべきだ」というこれまでであった中学生のイメージだけにとらわれて決めつけて考えるのではなく、生徒の力を信じて期待したり、能力を引き出し可能性を広げていかなければならないのだと思ひます。

体育祭でしか得られないことがあります

生徒の皆さんへ

始業式にお話ししたように、来る9月10日に3年ぶりで開催する体育祭ではみなさん一人一人の力を存分に発揮してほしいと思ひます。運動が得意な人がいる一方で苦手な人がいるのは当然のことです。集団での競技が好きな人がいれば嫌いな人がいるのも当たり前のことです。ではどうしたらいいのでしょうか。人間以外の動物は仲間を思いやる、仲間と力を合わせる、仲間のために自分の力をいかすとか仲間のために自分を律するなどということはほとんどできません。ましてや一つの目標に向かって頑張ったことをお互いにたたえ合うというようなことなどは人間にしかできないことだと言っていていいでしょう。つまり、たかが学校行事とはいえ体育祭で頑張るといことは人間としての能力を十分に発揮するということと同じなのです。古い言い方ですが皆さんは青春まっただ中です。頑張れ西中生。

2学期の始業式の式辞から

最初に右のようなスライドを示し、改めて本校のめざす生徒像、めざす学校像、めざす教職員像、そしてスクールアイデンティティについてお話をしました。これらは昨年私が着任してからずっと皆さんに示してきているものです。1学期の始業式にもお話ししているのですが、ここで改めてもう一度お話をさせていただきました。

次のスライドにある三つの心構えと二つの習慣も、私が常々皆さんにお願いしていることです。これからの時代は益々予測が困難な社会となり、次々と困難に遭遇することでしょう。みなさんが進むべき道を教えてくれる人はいません。自らが切り拓かなければならないのです。そのためには、何でも自らの意思で動き、知恵を出し合い、AIを超える深い考えができる人にならなければなりません。それが三つの心構えです。次に二つの習慣ですが、人と人とのコミュニケーションの最初に交わされるのが挨拶ですからそれをおろそかにしてはいけません。出会ったらまず挨拶をする習慣を身につけましょう。また、心は取り出して磨くことはできませんが、目の前にあるものを美しくすることで自然に心がきれいになっていくのを実感できるはずです。だから掃除は心磨きなのです。2学期もこれらを継続して頑張ってください。

さて、この夏様々な事件や事故がありました。衝撃的だったのは戸田市の女子中学生が渋谷で刺傷事件を起こしてしまったことです。同じ中学生なので生徒の皆さんの中にも同じ境遇や悩みを持っている人がいるかもしれませんし、もしかしたらいじめなどで今まさに辛い思いをしているかもしれません。そんなとき思い出してほしいのは皆さんの権利を使う言葉と、権利を守る言葉です。「つらいの」「たすけてほしいの」これは皆さんの権利を使う言葉です。恥ずかしいことはありませんし、負けを認めることでもありません。権利を行使する言葉なので自信を持って堂々と使ってほしいのです。そして「やめようよ」「かわいそうだよ」というのは、目の前の人を守る言葉です。間違っただけではありません、正義そのものなのです。だから勇気を出して力を込めて言ってほしいのです。自分一人ではどうしていいかわからないこと、自分たちだけでは解決できないこと。何かあったら私たちに相談してみてください。親身になって一緒に考えていくことを約束します。

○ 9月の主な行事予定 ○

2日(金) 3年生 4市テスト	15日(木) 職員研修(5時間授業)
3日(土) 漢字検定(申込者のみ)	16日(金) 防災訓練および講座
7日(水) 体育祭予行	20日(火) 壮行会(生徒会朝会)
9日(金) 体育祭準備	21日(水) 新人戦 2時間授業 給食なし
10日(土) 体育祭	22日(木) 新人戦 2時間授業 給食なし
12日(月) 振替休業日	

めざす生徒像 未来を生き抜く力を備えた生徒

めざす学校像 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

めざす教職員像 使命感と愛情にあふれる教師

スクールアイデンティティ
一人一人が大切にされていることが実感でき、
家に帰ったときに 元気よく「ただいま」といえる学校でありたい

3つの心構え

- ・自分から考えて行動する
- ・みんなで知恵を出し合う
- ・頭と心で常に深く考える

2つの習慣

- ・出会ったらまず挨拶
- ・掃除は心磨き

つらいの たすけてほしいの
権利を使う言葉

やめようよ かわいそうだよ
権利を守る言葉